

中部圏の航空と空港の現状と展望

【航空シンポジウム概要】

訪日外客数を2020年4,000万人、2030年6,000万人とする政府目標の達成には、空港のさらなる機能強化や航空ネットワークの充実が求められている。また、昨年自然災害は、災害発生時における空港の機能確保等の対策の必要性を再認識させた。

航空・空港のあり方は、我が国全体の視点からみても重要な政策課題であり、また、空港を擁する各地域においても、変化の激しい航空・空港情勢下において、そのあり方は常に検討されるべき課題である。

今般のシンポジウムでは、中部国際空港(中部圏)を中心に国際拠点空港のあり方や今後の動向、空港が担う地方創生の方向性、地元自治体の役割のあり方などの観点から、議論を展開する。

日時 2019年 **10月28日**(月) **14:00開会**
(開場13:30)

会場 中部国際空港内 セントレアホール
(中部国際空港ターミナルビル北側 第2セントレアビル)

定員 **200名** **シンポジウム：参加費無料**
交流会：有料

プログラム

開会 14:00 ~

講演① 14:15 ~ 14:55

演題 「中部国際空港セントレアの近況について」
講師 各務 正人氏 (中部国際空港株式会社 代表取締役副社長)

講演② 14:55 ~ 15:35

演題 「新大航空時代における空港整備」
講師 轟 朝幸氏 (日本大学 理工学部 教授)

休憩 15:35 ~ 15:45

パネルディスカッション 15:45 ~ 16:50

テーマ 「中部圏の航空と空港の現状と展望」
モデレーター 加藤 一誠氏 慶應義塾大学 商学部 教授
パネリスト 各務 正人氏 上記
手塚 広一郎氏 日本大学 経済学部 教授
轟 朝幸氏 上記
秀島 栄三氏 名古屋工業大学大学院 社会工学専攻 教授

交流会の ご案内

時間：17時10分より
会場：同一フロア北側の会議室 (R-1・R-2・R-3) ※要事前申込み
会費：3,000円 (当日、交流会受付にてお支払いください)

【共催】 航空政策研究会 ・ 公益財団法人 中部圏社会経済研究所
後援：一般社団法人 中部経済連合会、名古屋商工会議所

講師ご紹介



各務 正人 氏

中部国際空港株式会社
代表取締役副社長

1976年 東京大学法学部卒業、同年 運輸省(現国土交通省)入省、大臣官房政策評価審議官、航空局飛行場部長、航空・鉄道事故調査委員会事務局長、近畿運輸局長などを歴任。2014年より現職。



加藤 一誠 氏

慶應義塾大学
商学部 教授

1987年 同志社大学経済学部卒業、1992年 同志社大学大学院経済学研究科博士課程後期満期退学、2002年 同志社大学より博士(経済学)取得。関西外国語大学、日本大学経済学部等を経て現職。近著に「入門アメリカ経済 Q&A」中央経済社(2019年)がある。



手塚 広一郎 氏

日本大学
経済学部 教授

1995年 一橋大学商学部卒業、2000年 一橋大学院商学研究科博士課程単位取得退学、2005年 一橋大学より博士(商学)取得。福井大学教育地域科学部准教授を経て、2012年より現職。近著に「交通インフラの多様性」日本評論社(2017年)がある。



轟 朝幸 氏

日本大学
理工学部 教授

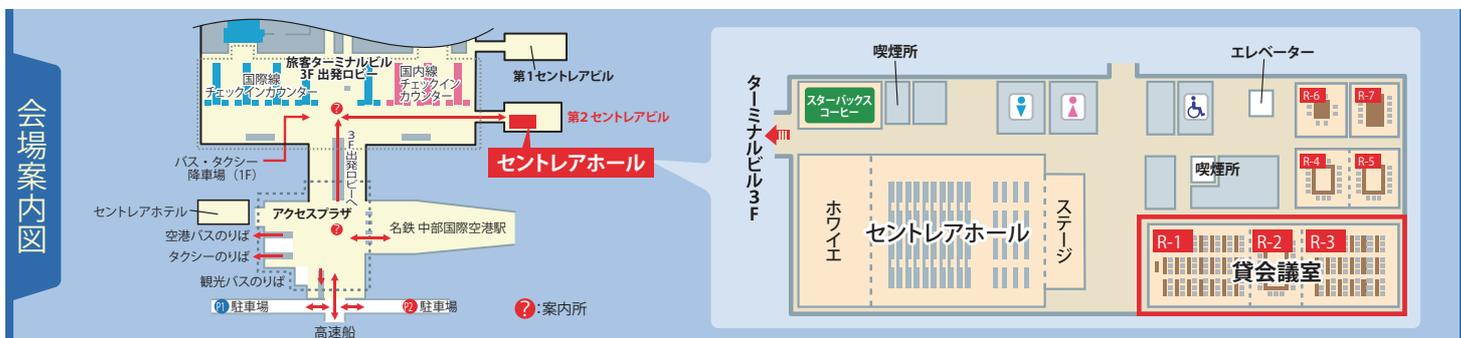
1988年 日本大学理工学部卒業、1993年 日本大学大学院理工学研究科博士後期課程修了、同年 博士(工学)取得。日本大学理工学部助手、東京大学工学部助手、同講師、高知工科大学工学部助教授、日本大学理工学部助教授、同准教授を経て、2008年より現職。近著に「災害と空港」成山堂書店(2018年)がある。



秀島 栄三 氏

名古屋工業大学大学院
社会工学専攻 教授

1990年 京都大学工学部卒業、1996年 京都大学より博士(工学)取得。京都大学助手、名古屋工業大学講師、同准教授を経て、2012年より現職。



FAX・e-mailにてお申込みください

申込締切: **2019年10月18日(金)**

FAX: 052-212-8782

e-mail: criser@criser.jp

※交流会申込後にキャンセルされる場合は、**2019年10月18日(金)までに必ずご連絡ください。**

▶ 申込み・問合せ先

公益財団法人中部圏社会経済研究所

〒460-0008

名古屋市市中区栄4-14-2 久屋パークビル3階

TEL.052-212-8790

担当: 紀村・高山・森

公益財団法人 中部圏社会経済研究所

参加申込書

勤務先	部署・役職	氏名	連絡先 TEL	出席は○、欠席は×を記入	
				講演会	交流会

※お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、本シンポジウムの運営管理のみに使用します。